

## 龍谷大学犯罪学研究センター



【河合潤教授（京都大学）に聞く】

# 和歌山カレー事件と『鑑定不正』

## ～裁判官は科学者の不正を見抜くことができるのか？～

龍谷大学 犯罪学研究センターは、2021年9月17日（金）・24日（金）に「和歌山カレー事件と『鑑定不正』」に関する公開研究会をオンラインで開催します。

当センターの研究メンバーを含むチームは、この10年、刑事裁判と科学鑑定の問題に取り組んできました。2013年と2015年には本学において、杜祖健 教授（コロラド州立大学）、勝又義直 名古屋大学名誉教授（元科学警察研究所所長）、丸茂義輝 准教授（長崎国際大学/当時・元科学警察研究所副所長）をお招きし、シンポジウムを開催しました。

調査研究の契機となったのは、いわゆる「和歌山カレー事件」です。犯人と疑われた林真須美さんは、1998年12月29日、和歌山地方裁判所に起訴され、2002年12月11日、殺人・同未遂・詐欺・同未遂の8つの公訴事実で有罪となり、化学分析による鑑定を根拠に、死刑の判決を受け、2009年4月21日、死刑判決が確定しました。

河合教授は、これらの裁判で採用された証拠の科学鑑定が、正しいかどうかをチェックする作業の中で見つかった事実を指摘し、結果として、多くの「鑑定不正」を見破ったのです。

この度、河合教授の書き下ろしの著書『鑑定不正』が出版されました。当センターは、この緊迫した状況の中で河合教授自身から、新著の意図についてお話しいただき、みなさんにその主張を正確に知っていただきたいと思い、本研究会を企画しました。

### 企画内容



#### 第1回研究会「河合潤『鑑定不正』の紹介」

2021年9月17日（金）18:00-19:30

#### 第2回研究会「河合潤、読者の質問に答える」

2021年9月24日（金）18:00-19:30

- 会場：オンライン（Zoom）

- 参加費：無料 \*下記Webより事前登録制

【詳細・お申込み】

<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/event/entry-9184.html>

（申込期限：各開催当日17:30）



↑参加申込み用のwebサイトは上記QRコードよりアクセスしていただけます

問い合わせ先：

代表メールアドレス E-mail：[crimrc2016@ad.ryukoku.ac.jp](mailto:crimrc2016@ad.ryukoku.ac.jp)

主催：龍谷大学 犯罪学研究センター

共催：（一社）刑事司法未来